

## 2000 Formula SAE に初挑戦

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会のなかに「Challenge! Formula SAE」プロジェクトが発足し、基本設計、空力特性などを検討した。1998年4月、5大学1高専の合同チーム「Challenge! NIPPON」チームが発足し、エンジンは国土館大学、ワイヤハーネスは上智大学、メインフレームは東京都立高専、カウルは日本大学、サスペンション、ステアリング、組み立ては神奈川工科大学が担当した。

Formula SAE は、排気量610cc以下の4サイクルエンジンの使用が義務づけられている。「Challenge! NIPPON」チームは、軽自動車の660ccエンジンをストロークダウンにより610cc以下に改造し、縦置きミッドシップ後輪駆動方式を採用した。排気量608cc、車両質量360kg、FRPボデーの車両で、2000年5月の Formula SAE にアジア地域から初参戦した。総合成績は、参加104チーム中28位で新人賞を受賞した。

## 2001-04 Formula SAE 参戦

2001年は、国土館大学・上智大学・日本大学の合同チーム、神奈川工科大学の単独チームが参戦した。2000 Formula SAE プロジェクトでは活動方針、進行管理などについては担当の先生に委ねがちであったが、2001 Formula SAE ではマネジメント、進行管理、広報活動についても学生自身が自ら行った。参加125チーム中合同チーム91位、神奈川工科大チーム92位。

2002年は3チームが単独校として参戦し、参加125チーム中、国土館大学チーム74位、神奈川工科大学チーム77位、上智大学チーム86位。2003年は5チームが参戦を予定していたが、イラク戦争の余波を受け3チームが参戦した。参加123チーム中、東京電機大学55位、国土館大学72位、上智大学95位。日本の第1回大会後の2004年は4チームが参戦し、参加134チーム中、神奈川工科大学チーム25位、国土館大学チーム33位、宇都宮大学チーム37位、上智大学80位。

## 第2回 全日本 学生フォーミュラ大会に向けての試走会開催

2004年の第2回 全日本 学生フォーミュラ大会、および5月開催の2004 Formula SAE に向けた走行会を3月10日、11日、富士スピードウェイにて関東支部主体で開催。参加車両は、宇都宮大学・明星大学合同、神奈川工科大学、国土館大学、東京電機大学、金沢大学、武蔵工業大学、金沢工業大学の8チーム。この大会では、走行練習だけでなく、ドライビング講習会、設計講習会、チームとの個別相談会なども行った。また、7月31日、8月1日にアイシン精機藤岡テストコース（愛知県西加茂郡）にて中部支部と関西支部主体の試走会、8月4日にツインリンクもてぎにて関東支部主体の試走会を開催。



富士スピードウェイにて関東支部主体の走行会(2004年3月10日、11日)